



導入事例

# Merck Life Science 社、自動化を通じてコンプライアンス工程を合理化し、年間 12 万 1,000 時間を削減

## 組織概要

Merck Life Science 社は、最先端のツール、サービス、専門知識を提供することで、研究者が科学的ブレークスルーを実現し、技術者が新製品を開発できるよう支援しています。

## 結果

**121K**

年間削減時間数

**64**

自動化された業務工程の数

**14**

自動化された複雑な SAP システムの数

“

許認可を剥奪されると、当社は事業を運営できなくなります。各種工程の自動化は、当社にとって多大な支援となりました。

**Radhika Mahadev 博士**

Merck Life Science 社、ロボティック  
プロセスオートメーション責任者



## 課題

Merck Life Science 社は、臨床試験レポート、製造記録、品質管理文書など、医薬品開発工程全体を通して、さまざまな規制を遵守し、詳細な文書を維持する必要があります。統一された注文審査工程がないため、膨大な量と現地のライセンス ポリシーにより、注文のリリースや資材の処理に遅延が生じ、最終的にサプライ チェーン プロセスに影響を及ぼしていました。

## ソリューション

Merck Life Science 社は Automation Anywhere と協力し、14 か国にわたる 64 の異なる工程について、貿易コンプライアンス、国際物流、規制管理などの複雑な規制コンプライアンスを合理化しました。17 の Bot を使用して、日常的なワークフローにロボティック プロセス オートメーション (RPA) の接続を組み込みました。最初に、輸出入、ライセンス、在庫、資材のチェックや記録管理などの規制コンプライアンスをターゲットとしました。この導入により、2021 年に優れた貿易コンプライアンスの確約に関して Global Regulatory Management & Trade Compliance Recognition を受賞しました。

## 自動化されたプロセス

- カスタマー サービス
- サプライ チェーン
- 規制管理
- 貿易コンプライアンス
- ヘルスケア CM

“

規制工程には、時間がかかり、ミスが発生しやすいものが数多くあります。

**Radhika Mahadev 博士**

Merck Life Science 社、ロボティック  
プロセス オートメーション責任者

## 事例の概要

規制コンプライアンスは非常に複雑な分野です。国によって状況が異なることを考慮すると、より一層複雑です。また、さまざまな科学的発展のために世界中で使用される研究製品を扱うライフサイエンス事業に固有の、高いレベルの責任も伴います。同社のコンプライアンスチームは、手動による文書作成と管理が、時間がかかり、ミスが発生しやすく、追跡が困難になっていることを認識していました。複雑な規制や要件に対応する場合は特にそうです。国によっては最大 30 もの規制チェックがあり、ビジネスチームに要求される確認の複雑さが、注文リリースの妨げになっていました。

Merck Life Science 社は Automation Anywhere と協力し、14 か国にわたるコンプライアンス関連文書の作成、管理、配布を合理化することを目的に、自動化工程を設定しました。自動化は、データ主導の意思決定を強化し、価値実現までの時間を短縮するうえで役立っています。

コンプライアンス文書の作成、管理、提出にかかる時間が短縮され、文書作成の一貫性と正確性を確保しています。新製品の導入とディスカバリーにおけるイノベーションは、規制当局の監視を強めることになっていますが、Merck 社は自動化により、コンプライアンスの追跡と報告を改善しています。これは、規制要件への準拠を実証し、発生する可能性のあるコンプライアンス問題への迅速な対応に役立っています。

さらに、自動化によって Merck 社の科学者は、面倒で複雑なコンプライアンス工程ではなく、高いレベルの業務に集中できるようになりました。その効果は数百万の人々の人生を変えています。これらのデジタルツールは、サプライチェーン問題への対処、規制当局へのデジタル申請、新製品導入のライフサイクル短縮により、新型コロナウイルス感染症ワクチンの加速に貢献しました。

## 今後の展望

Merck 社は、インテリジェントオートメーションの導入を継続しようとしており、Bot を構造化されたデータセットに限定することなく、認知機能に対応した Bot を求めています。また、その自動化の範囲を、注文入力や Web ベースの注文、市場投入工程、新製品の導入、サプライチェーンの物流工程にも拡大したいと考えています。最後に、Merck 社はその全体的なデジタルトランスフォーメーションを視野に入れながら、自動化による納期遵守、カスタマーエクスペリエンスの向上、市場投入までの時間短縮に期待を寄せています。

### Automation Anywhere について

オートメーション・エニウェアは、人がアイデア、思考、フォーカスを用いて企業を強化できるように支援します。私たちは、世界で最も洗練されたデジタルワークフォースプラットフォームを提供し、ビジネスプロセスを自動化し、人を定型的な業務から解放することでよりよい仕事環境の実現を支援します。

製品に関するお問い合わせやデモをご希望の場合は、[下記ホームページ](#)、もしくは[メールアドレス](#)からお申し込みください。

Automation Anywhere  [www.automationanywhere.com/jp](http://www.automationanywhere.com/jp)  [contact\\_japan@automationanywhere.com](mailto:contact_japan@automationanywhere.com)

 [@AutomationAnwJP](https://twitter.com/AutomationAnwJP)  [www.facebook.com/AutomationAnywhJP](https://www.facebook.com/AutomationAnywhJP)

Copyright © 2024 Automation Anywhere, Inc. Automation Anywhere, A のロゴ、Automation 360, AARI, A-People, IQ Bot, Bot Insight は、米国およびその他の国における Automation Anywhere Inc. の商標・サービスマーク、または登録商標・サービスマークです。本書に記載されるその他の製品および会社名は識別のみを目的としており、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

Automation Anywhere ©2024

